



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
THE Y'S MEN'S CLUB OF GOTEMBA
 CHARTERED 1986.4.7

2026.6
 No.478

第1例会：毎月第2木曜日18：30～ 第2例会：毎月第4木曜日18：30～ 会場：YMCA東山荘 TEL：0550-83-1133/FAX:0550-83-1138
 〒412-0024静岡県御殿場市東山1052(公財)日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘 URL <http://www.ymcajapan.org/tozanso/>
 OFFICE:YMCA TOZANSO 1052 Higashiyama Gotemba Japan 412-0024 E-MAIL:tozanso@ymcajapan.org

会長：前原 末子 書記：大割 克美 会計：内海 昭美 監事：杉山 將己



国際会長主題 “Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」
 アジア地域会長主題 “Act now with faith and love!” 「信念と愛を持って行動しよう！」
 東日本区理事主題 「ワイズのらしさ再発見」
 富士山部部长主題 「参加して生き生き学ぶ我が奉仕」
 御殿場クラブ会長主題 「活「和顔愛語の心でクラブ活動と奉仕を」
 御殿場クラブ活動方針

1. 東山荘と共に地域奉仕活動を行う。
2. 会員相互の親睦を図り、信頼関係の構築をなす。
3. 健全なる青少年の為に、YMCAと共に力を注ぐ。
4. DBCを始めとする他クラブとの交流を促進する。
5. EMC増強によるメンバーとクラブの強化を目指す。




2026年6月例会プログラム

司会 佐野恵美Y's


1. 開会の言葉 佐野恵美Y's
2. 開会点鐘 会長
3. ワイズソング・ワイズの信条 一同
4. 会長挨拶 会長
5. ゲスト・ビジター紹介 会長
6. 聖句について 森田義彦Y's
7. 誕生日・結婚祝い 各自
8. スマイル・YMCA基金報告 内海昭美Y,s
9. 食前感謝 芹澤千恵子Y's
10. 食事
11. 卓話紹介 会長
12. 卓話
13. 閉会 会長

《今月の聖句》
 マタイによる福音書 1 2 章43、44節



「汚れた霊は、人から出て行くと、砂漠をうろつき、休む場所を探すが、見つからない。それで『出て来たわが家に戻ろう』と言う。戻ってみると、空き家になっており、掃除をして、整えられていた」

汚れた霊とは過去から現在までの出来事である。病気や争いごとで人の健康や精神を害する事柄。問題が解決したということ。新規一転し出直した後が問題で、心が綺麗になった後、7つの悪い霊が入る可能性があり、以前よりも悪い状態になりやすい。現代への警鐘とも言え、厳しい状態の時、神頼みを行うが過ぎ去れば事態の悪化を招くことになる。



例会報告:小野麻利子Y's プリテン原稿:前原末子's

6月結婚記念日おめでとうございます!

自己申告

6月お誕生日おめでとうございます!

6/3 芹澤 千恵子Y's
 6/21 森田 義彦Y's



【5月例会報告】

在籍数	14名	メネット	0名	スマイル報告	12,000
出席者	11名	コメント	0名	スマイル累計	823,726
メーキャップ	名	ゲスト	0名	YMCA基金	2,140
出席率	78%	ビジター	5名	YMCA累計	271,853
修正出席率	%	出席者		BF活動切手	
		合計	16名		

5月 例会報告

杉山将己

5月に入り新緑の季節となり、更には初夏を思わせる様な陽気に成って来ました。今月は特別な公演会を主体とした例会を、杉山博恵Y'sが準備をして戴いての例会です。

沼津Cの長谷川会長・富士Cの増田会長・熱海Cの松永会長・熱海Cの日下直前会長そして、本日の例会の特別講師でもある、東京、町田コスモスCの山口和彦Y's御殿場C. 11名の参加者で、総計16名での例会となりました。

尚、本日の例会は講演を主としての開式の為、1時間早めてのスタートとなりました。

更に、会食に関しては軽食のカレーライスでしたが、さすがに東山荘のカレーは美味しく戴くことが出来、感謝・感謝でした。

いよいよ、午後7時より本日の講師としてお願いをした、東京・町田コスモワイズンズクラブの、山口和彦先生の講和の始まりです。

杉山博恵Y'sの手配により、4月29日付けの地域の岳麓新聞に講演会の案内を載せて、一般の参加者を募集しての講和となり、18名程の参加者に来て戴きました。

山口先生の講和は、【こころと脳の健康・そして世界の平和を考える】という題名です。沢山の資料の基スクリーンに依り、認知症に関する説明と予防についてのお話しを細かにして戴きました。

私自身リスク要因の中で、高血圧・肥満・糖尿病・難聴と四つの病とお付き合いをしている状態の中、認知症が始まっている様に思う時が多々あります。

今回の山口和彦先生の認知証についてのお話しに《感謝・感謝》でした。



ブリテン原稿

芹澤千恵子



私事ですが、今年1月から自社に(マニュライフ生命)に転任して来た事務員さんの言葉に感動しました。彼女の性格のせいか、明るく元気で社内を楽しく和ごませてくれて、とても居ごこちの良い雰囲気になってくれています。

彼女の言葉!

「私達内勤がお給料いただけるのは営業の皆さんのがんばりの“おかげ”です」

何気無いその言葉の語源である『陰 カゲ』とは、神仏など、かつて日本人は、自分一人の力では無い周囲の支えや自然の恩恵を受けて生きている。という考えで、その感謝をこの言葉に託していました。

「おかげさまで!」という響には自分を少し控えめに置き、他者や環境への敬意を忘れない日本人独特の美德が息づいている様に思います。

個人を主張するこの頃ですが、この事務員さんの思いを改めて心にきざみ「おかげさま」を見つける日々を過ごしていきたいと思えます。